

AI等を活用した茨城県総務事務センターの業務自動化に関する情報提供依頼に関する質問の回答

項番	質問内容	回答
1	募集要領「2 概要」の見積限度額は、最大3者の合計額ではなく、1社あたりの限度額ということで認識相違ないでしょうか。	お見込みのとおりです。
2	募集要領「9 受託候補者の審査方法」の審査基準に「価格の妥当性」が評価項目となっておりますが、妥当性が確認できれば金額の大小は評価に影響しないという認識で相違ないでしょうか。	お見込みのとおりです。
3	仕様書「5 業務内容」について、中間報告における成果物の指定はありますでしょうか。	指定はありませんが、検証環境についてデモンストレーション・操作体験を実施してください。
4	仕様書「4 業務履行期間」について、「令和7年6月13日までに中間報告（デモンストレーション・操作体験を含む）を実施すること」とありますが、デモンストレーション及び操作体験の貴県対象者及び人数を想定で構いませんので、ご教示ください。	現時点の想定は以下のとおりです。 対象：以下所属の関係者 行政経営課、総務事務センター、人事課、情報システム課 人数：20人程度
5	仕様書「4 業務履行期間」について、「令和7年6月13日までに中間報告（デモンストレーション・操作体験を含む）を実施すること」とありますが、提案するAI・自動化によっては資料での説明・紹介とならざるを得ない場合もあると考えます。デモンストレーション・操作体験が困難な場合は、資料での説明・紹介も許容いただけますでしょうか。	資料での説明・紹介でなく、検証環境についてデモンストレーション・操作体験を実施してください。
6	仕様書「5 業務内容」の「(3) 中間・最終報告とフィードバック」について、「中間報告は遅くとも令和7年6月13日まで」とのことですが、最終報告の期限の目安はいつごろでしょうか。	目安は、仕様書「4 業務履行期間」のとおりです。 なお、スケジュールは企画提案の範囲となります。
7	「茨城県総務事務センターの業務自動化概念実証業務委託」とのことですが、総務事務センター様以外の所属担当者・利用者の自動化・利便性向上の施策も貴県にとって有益と考えます。 総務事務センター様以外の所属担当者・利用者の自動化・利便性向上施策も評価対象となりますでしょうか。	お見込みのとおりです。

項番	質問内容	回答
8	【仕様書 P4】 検証環境の改善後のフィードバック分析および成果物への反映を行うタイミングは、最終報告の前または後のどちらでしょうか。	以下の流れを想定しています。 中間報告→フィードバック→最終報告→フィードバック→成果物（最終報告書）へ反映
9	【仕様書 P3】検証環境構築は、貴庁専用環境ですがクラウドベースの構築としてよろしいでしょうか（LGWAN 配下での構築は対象外としてよいのか。）	お見込みのとおりです。
10	【仕様書 P5】概算総費用については、総務事務システムの更新を見据えた、2026 年の要件定義および計画策定費用の概算も必要でしょうか。 必要な場合は、構築の内数として記載すべきでしょうか、それとも別で整理すべきでしょうか。	お見込みのとおりです。 記載は、内訳が判別できれば、指定はありません。
11	【仕様書 P5】概算総費用および概算構築期間については、PoC の対象業務だけではなく、総務事務支援システムを廃止した場合の新システム全量についての現時点概算でよろしいでしょうか。	全てを再構築する To-Be 像であれば、お見込みのとおりです。 なお、総務事務支援システムの新規構築を必須とするものではなく、本検証の結果として、総務事務支援システム更新に向けた To-Be 像を報告していただくこととなります。
12	PoC 開発において、質問等の機会などをいただくことは可能でしょうか？ また、Web 会議、メール、SNS 等による質問となりますでしょうか？	仕様書「5 業務内容＞(2)＞イ＞【検証環境構築に関する留意事項】」のとおり、県担当者との協議しながら開発等していただくこととなります。
13	PoC 開発納品後、AI におけるチューニング期間（開発後および初期導入後）を設けることは可能でしょうか？ 業務ノウハウの設定および調整などを想定しております。	業務履行期間内は、可能です。
14	プロポーザルに関する業務において、検証する業務フローは公表もしくはご教授いただけるもののでしょうか？	仕様書「5 業務内容＞(1)対象業務の選択」とおり、受託者の知見を最大限に活用するため、対象業務を県では指定しません。 選択された対象業務について、業務フロー、マニュアル等を提供します。